

平成21年度第6回 落合第一地区協議会の概要

日 時	平成21年9月1日(火) 午後7時00分～9時00分
場 所	落合第一地域センター3階 集会室
出席者	委 員 29名 特別出張所: 山本所長、川崎副所長、関口活動支援員
協議内容	1. 地区協連絡会視察の報告 2. 議 事 1)各PT報告 2)(仮称)自治基本条例区民検討会議報告 4)ふれあいフェスタのパネルについて 5)その他
配布資料	①平成21年度第6回落合第一地区協議会次第 ②飯田市自治基本条例 ③飯田市視察及び講演会参加者名簿 ④平成21年度第5回「広報PT」会議概要 ⑤平成21年度第4回「自転車問題PT」会議概要 ⑥平成21年度第7回「ふるさと落合」会議概要 ⑦平成21年度第11回「安全・安心PT」会議概要 ⑧平成21年度第3回、4回「地区協まつり実行委員会」会議概要 ⑨豊島区子どもの権利に関する条例 ⑩新宿区自治基本条例区民検討会議 資料一式

1 地区協連絡会視察の報告

- ・ 既に自治基本条例を制定している飯田市へ、1泊2日の研修旅行に行ってきた。非常に有意義な内容であり、一緒に研修に参加した新宿区のメンバーの中で、「飯田市に負けない条例を作ろう」、という話になった。研修では地区協議会の問題点は何か、課題解決はどのようにすればよいのか、という内容を話し合うなどのワークショップも行った。その結果をまとめたものを後日配付したい。
- 飯田市の条例の特徴は、「ムトス(～しようとする)」という一歩踏み出した意欲的な条例であり、強調すべきことは、議長が主導権を持っているということである。その他、条例そのものに関しては、ごく標準的なものだった。
- 新宿区地区協議会からは、若松地区協がDVDと安全安心マップを用意して紹介した。また、落二地区協からはまちづくりの基本的なまとめをやっているとの報告、四谷地区協からはストップ温暖化について取り組んでいるとの報告があった。

2 議 事

1) 各PT報告

◇ 広報PT (資料1)

- ・ みどりの風第6号は、9月中の発行に向け現在作業を進めている。
- ・ 7月にみどりの座談会を開催した。今後は、みどりの取組として、そこから一歩進んだ形にして行きたいという意見が出た(詳細は資料1参照)。

◇ 自転車問題PT (資料2)

- ・ 9/29(火)に実施する無灯火防止啓発キャンペーンへのご協力をお願いしたい。
- ・ 新宿区が作成した「新宿シンちゃんよいこの交通安全」DVDの上映と、SONPOから出ている冊子、「自転車の事故、安全な乗り方と事故への備え」の配布を地区協フェスタで行いたい。
- ・ 四谷地区自転車駐輪場整備状況の見学ができるかどうか、現在確認中。

- ・ 昨年同様、10月の町連大運動会と11月のコミスポで地区協ティッシュ、タオルハンカチなどを配付したい。数が足りないものに関しては追加発注する。

<決定事項>

大運動会、コミスポでの啓発物の配付について、全員賛成で実施に決定。

◇ ふるさと落合PT（資料3）

- ・ 3地域の座談会のカット作業終了。今後はナレーション、写真、資料を入れ込む作業に入る。
- ・ 地区協フェスタでは、完成したDVDを解説者をたてて上映したい。

◇ 安全・安心PT（資料4）

◎ 安全安心マップ

- ・ マップの名称・・・「落合第一地区安全安心マップ」
- ・ 見積り・・・人文社で41万4750円
- ・ 1万部マップを作成した柏木地区、大久保地区がどのように配布したのかを事務局が調べる事になっている。
- ・ 空いているスペースに「いかのおすし(行かない、乗らない、大声を出す、すぐに逃げる、知らせる)」を入れたらいいのではないかと意見が出た。

◎ 救命救急講習会

- ・ 新宿消防署より、有資格者のための講習会実施は可能とのこと。その場合、マウスピースとテキストは有料となる。有資格者と初心者との講習会を一緒に行う事もできる。

◇ 地区協まつり実行委員会（資料5）

◎ 催しもの

場 所	催しもの
1階駐輪場	3人乗り自転車展示・試乗、新宿シンちゃんDVD上映
1階駐車場	焼きいも
3階第一集会室	PT活動紹介、休憩室
	スワンのパン販売
3階第二集会室	ふるさと落合DVD上映
3階調理室	炊出し訓練(アルファ米)
4階和室	紙芝居、落語
4階ホール	大声コンテスト、いきいき体操、(仮称)みんなの木
	三世代交流イベント 1部「みんなで知ろう落合の自治」 2部「沼田市新鮮野菜果物オークション」
3階、4階壁面	写真展

※ 詳細については配付資料⑧を参照。ただし、催しものの細かな内容は、全てにおいて決定しておらず、今後討議を重ねて決定する。

◎ 予算を使うもの(金額は見込み)

- ・ 以下の支出が見込まれる。
 落語家・・・2万円 ・大声メーター表示板・・・5千円 ・牛山氏の講演料・・・2万4千円
 野菜果物代金・・・不明 ・高速代、ガソリン代・・・実費 ・参加賞、景品、賞品・・・不明

◎ PR方法

- ・ 地区協ホームページへの掲載、広報しんじゅくへの掲載、各小中学校へのチラシ配付、町連大運動会での宣伝、地区協参加団体推薦委員からの所属団体への呼びかけなどを考え

ているが、地域団体代表者へ案内状を出したほうがよいかどうかご意見を頂きたい。

<決定事項>

案内状を出した方が良いとの意見が多かった為、出すことに決定。

■ 質問1

三世代交流イベントは何の為にやるのか。また、(仮称)みんなで知ろう落合の自治の出席者に、四谷地区協議会の高野氏の名前が載っているが、なぜ落一の斉藤副代表ではないのか。更に、沼田市の特産というのは、どのような流れがあつて沼田市となったのか。

● 回答1

自治基本条例を制定すべく、現在区民検討会と検討連絡会で討議を重ねている。この条例の中で地区協議会も制度化されるべく歩みを進めている。こういった中で地区協議会をどのように説明するのか、自治基本条例がまだ決まっていないうちに、「今こういう風に動いています」という過程を示す事が重要だと考える。

沼田の新鮮野菜オークションは集客のために考えた事である。なぜ沼田なのかというと、区の事業である生涯現役塾に1期生として参加し、住民自治を実践するという事を行った際に、消費生活センターの共同事業として沼田市へ農業体験に行った。それは、ただ単に農業体験をするに留まらず、今後それをどう生かすかを考えさせられるものであった。また、区の事業という事で、沼田市副市長が出迎えてくれ、交流が始まる事となった。その後も、新宿区民マラソンなどを通じて良い関係を築く事ができたので、この機会に是非とも沼田市の美味しい新鮮野菜を扱う事を考え付いた。

高野氏を呼ぶ理由は、高野氏は区民代表委員6人の中の一人であり、住民側の長の立場となっているという事である。牛山氏は、区民検討会議の座長をやっているのので、このお二人を呼びたいという思いがある。落一の斉藤副代表には、「(仮称)みんなで知ろう落合の自治」の司会をお願いしたいと考えている。

▲ 意見1

落一地区協フェスタなので、高野氏が条例の検討会で区民側の長の立場とはいえ、他地区の方を呼ぶのには反対。出席者は落合の町を知っている人でなければ意味がないと思う。落一にこだわって考えた方がよい。地区協フェスタは落一地区協を知ってもらう為に開催するのであって、自治について話をしても人は来ないと思う。

▲ 意見1への回答

落一にこだわって考えた結果である。自治基本条例の最大の眼目は、地区協議会がどう制度化されるかである。今のこのままの地区協でいくのか、大改造された新しい地区協が生まれるのか、地域の基盤をどうするかを検討するのが目前に控えている。だからこそ、今の落一地区協だけを知らしめるのではなく、これから変わりゆく落一地区協も知って欲しい。高野氏は、6人の中の主導的立場であり、住民の声を届ける立場であることから、落一地区の意向も汲んで欲しいと思っている。

■ 質問2

「(仮称)みんなで知ろう落合の自治」に中学生を呼んで討論会を開催したいとの事だが、はたして中学生が自治基本条例について討論ができるのか疑問。この討論会は三世代交流ではない気がする。

● 回答2

三世代交流というのは、1部のディスカッションと2部のオークションをセットで三世代交流と考えている。催しをやるには集客が必要。そこで先に述べたような理由で沼田市新鮮野菜オークションを考えた。あくまでも1部、2部セットでお考え頂きたい。

◎ 地区協フェスタ副実行委員長 より

地区協を知らしめる「地区協フェスタ」の中で、各PTの活動紹介と同列で、これまで和田委員を中心に取組んできた自治基本条例を紹介するのは悪くないと思う。

地区協の中の一つの取組として自治基本条例を扱う。そして、討論会というのは一つの方法論である。自治基本条例というものを我々もよく理解できていないが、このイベントが、地域の人々が自治を考える一つのきっかけになると思う。

落合では様々なところで様々な団体が動いているが、地区協がこれからどのようにっていくかというのが、大事な事の一つであるし、我々の意識として、行政がやる事、言う事を鵜呑みにするのではなく、これまで我々の先輩方が行ってきた事、落一の皆がやってきたような事も含めた、「本当の自治とはどういうものか」という事を考えるきっかけとなるのではないかと思う。その一つのきっかけとして、たまたま区民検討会で牛山教授中心に進めてきている事を、ちょっとずつでも知ることが出来ればいいのではないか、という事である。1時間程度では何もできないかもしれないが、これを開催することによって、一つのポイントとなる我々の生き方が見えてくるのではないかと思う。

■ 質問3

個人的に、三世代交流は必要だと思っている。和田委員もそう考えて企画したのか。また、我々が聞いても分からない自治基本条例の討論会に中学生を呼んで、どのように話しをし、どのようにするのか聞きたい。

● 回答3

三世代交流が重要だと思い企画した。

配付資料⑨は、中学生用に書かれた豊島区の条例である。今回新宿区自治基本条例も、分かり易く、誰にでも理解できるようにするべきだと思っている。自治基本条例は、条例の下に単独の条例としてぶら下がる「豊島区こどもの権利に関する条例」とは違い、大本の基本線を決めようという事であるため、具体性がなく分かりづらい。しかし、条例というからには皆が守らなければならないものである。その為には理解することが必要となる。中学生を呼びたいというのは、分かり易い条例を作るための一つの方法論であると考えて頂きたい。

◎ 地区協フェスタ実行委員会 委員より

本日、皆さんから出た質問や意見は、昨日の実行委員会で既に討論した内容である。この三世代交流イベント開催の提案を和田委員から受け、様々な質疑応答の後、実行委員会として開催する事を決定した理由は、あくまでも各PTの活動紹介と並列である、という事だった。参加者、方法論など、詳細については未定。今後討議する。

◎ 副代表

本日出た多くの意見を踏まえ、地区協フェスタ実行委員会で討議をして頂きたい。また、地区協フェスタで支出項目がいくつか挙げられているが、金額が予算内であれば問題ないということでしょうか？

◎ 会計委員

問題ない。

■ 質問4

地区協フェスタを開催するにあたり、会場を貸出してくれる地域センターとは話がついているか？

● 回答4（山本所長）

8月の地域センター役員会の中で、地区協議会は地域センターを利用している1団体であるにもかかわらず、地区協フェスタを開催するにあたり、センター役員会を通さずに部屋を押さえるのはおかしいとの話がでた。早急に、清水代表名で地域センター前田会長に依頼文を提出する。

また、地区協フェスタはセンターまつりとは違った内容にして欲しいとの話もあった。

■ 質問5

大声コンテストは地区協フェスタの内容として相応しいのか？

● 回答5

いざという時に大声が出せますか？ということで実施するので、安全・安心の一環である。

■ 質問6

大声コンテストは、相当の大声が出ると思うが、音量の問題は大丈夫なのか？

● 回答6

マイクは使用するが、スピーカーを通さないので問題ない。

2) (仮称)自治基本条例区民検討会議報告

- ・ 現在、区民の権利と責務について3回に分けて討議している。そのまとめを、明日の区民検討会議で行う。その翌日に検討連絡会に意見を持っていき、議会、行政、区民の意見をぶつけ合う。これが1~2回続いた後、地域の基盤をどうするか、という地区協議会の問題に入ってくると思われる。この条例を作るにあたり、地区協を制度化するというのが大きな目的の一つである。今のままの地区協なのか、新しくするのか、様々な意見が出てくると思う。皆さんから多くの意見を伺いたいので、この条例を理解する為にも傍聴に来て頂きたい。

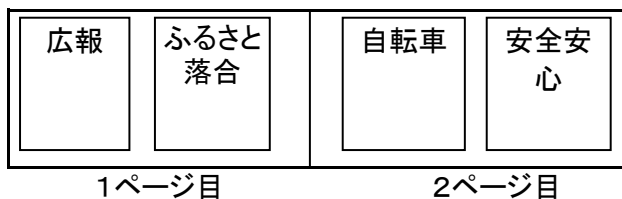
※検討連絡会日程・・・9/3 新宿区役所本庁舎 6階 第2委員会室

3) フェスタのパネルについて (事務局)

- ・ 本日、ふれあいフェスタに展示するパネルと、パンフレットへの掲載順序を決定して頂きたい。

<決定事項>

- ・ 多数決により、ふれあいフェスタ展示は、安全・安心PTパネルに決定。
- ・ パンフレットの掲載順序は下図のように決定。



4) その他

◎ 無電柱化に関する説明会について

■ 質問

前回の無電柱化の説明会の中で、目白通りの商店街の方が、8月に説明会をして頂いたという話があった。これは、商店街が第三建設事務所において開催した説明会なのか。

● 回答 (川崎副所長)

特に商店街からの要望という事ではない。希望があれば、地区協議会でも説明会を開催するとの事だった。

◎ 地区計画について

本日地区計画の話をする予定となっていたが、まだ準備が出来ておらず、報告は10月半ばになる。10月の全体会でも状況説明をする。